

樹下社（別名:豊国神社）

新日吉神宮の境内にあるこの境内社の名前は、豊臣秀吉（1537-1598）に捧げられたものであることを隠すために考えられたものである。秀吉は 16 世紀の 10 年間に全国統一を果たし日本を統治した武将である。「このもと」というのは秀吉の元の姓である「きのした」の別の読み方をしたもの。支配者となった徳川将軍家は、秀吉に対する大衆の崇拝を脅威とみなし、新日吉神宮の上にある丘にもともとあった豊国神社の閉鎖を促した。伝説によると、その神社で崇拝の対象となっていた御神体が密かに新日吉神社に運ばれ、崇拝されるようになったという。18 世紀中旬にできたこの魅力的な神社は、名目上は他の神々に捧げられているが、実はそのような起源を持つと言われている。